

境港市における保育のあり方について

1 目的

将来の人口推計をもとに保育の受け皿の必要量を確保するとともに、市民ニーズに適切に対応していくため、保育のあり方について検討を図ります。

2 趣旨

本市では、平成17年度に「境港市における幼稚園・保育所のあり方について」を取りまとめました。平成17年度のあり方検討では、乳幼児保育サービスについては、民間で十分サービス供給ができる分野であり、積極的に民間に委ねていくという方針が出され、その方針に基づき公立幼稚園の廃園や、公立保育所の民間移管を実施してきました。

近年、女性の社会進出の進展等により3歳未満の保育需要が増加し、年度中途に待機児童が発生しています。一方では少子化傾向に歯止めがかからず、本年4月には誠道小学校と余子小学校が統合するなど、本市の子育てをとりまく状況に大きな変化が生じています。

そのため、基本的には、平成17年度のあり方検討で定めた方向性を踏まえつつ、現在の状況を反映しながら、今後に向けた保育のあり方について検討を行っていきます。

3 資料

- (1) 幼児教育・保育施設の利用状況等について
- (2) 幼児教育・保育施設の現況について(立地状況、利用状況)
- (3) 平成17年度境港市における幼稚園・保育所のあり方について

4 今後のスケジュールについて(案)

令和2年8月	第1回会議 ・境港市の状況等についての説明(今回)
(途中)	アンケート調査の実施(保護者、事業者など)
令和2年10月	第2回会議 ・「境港市における保育のあり方」(素案)の提示・意見交換 ・境港市子ども・子育て支援事業計画(第2期計画)のPDCA
令和2年11月	第3回会議 ・「境港市における保育のあり方」(修正案)の提示・確認
(途中)	パブリックコメントの実施
令和3年2月	第4回会議 ・「境港市における保育のあり方」策定
令和3年3月	市議会への報告

1 過去の推移

- ・0歳から5歳児の人口は、2000年と2020年を比べると約3割(約600人)減少
同期間において、未満児の利用人数は大幅に増加しています。

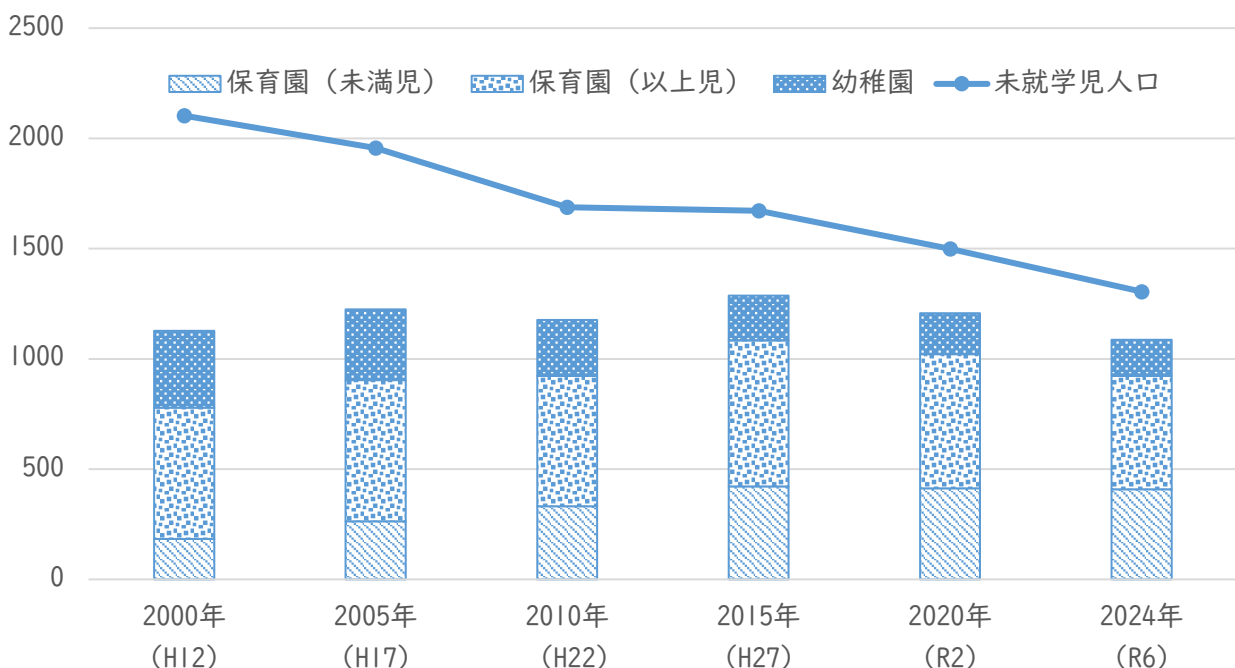
	未就学児人口 (0歳~5歳)	利用人数			
		保育所等		幼稚園	計
		未満児	以上児		
2000年(H12)	2,103	184	595	348	1,127
2005年(H17)	1,956	264	639	321	1,224
2010年(H22)	1,687	332	591	254	1,177
2015年(H27)	1,672	422	662	203	1,287
2020年(R2)	1,499	413	609	185	1,207

人口は住民基本台帳人口(3月末、外国人含む)、保育所等は行政福祉報告例(4月1日現在)、幼稚園は学校教育基本調査(5月1日現在)の数字を用いました。(令和2年は速報値)

2 境港市子ども・子育て支援事業計画(第2期)より、今後の推計値

	未就学児人口 (0歳~5歳)	利用人数			
		保育所等		幼稚園 1号認定	計
		3号認定	2号認定		
2020年(R2)	1,492	456	600	192	1,248
2021年(R3)	1,441	442	577	185	1,204
2022年(R4)	1,401	440	550	176	1,166
2023年(R5)	1,351	425	529	169	1,123
2024年(R6)	1,305	409	513	164	1,086

・計画書 57 ページより。未就学児人口は、児童数の推計結果の0歳から5歳までの合計。



3 待機児童の状況

- ・毎年4月1日の待機児童は0人です。
- ・しかし、年度中途には、0歳児を中心とした未満児に待機児童が発生しています。

(毎年10月1日時点)

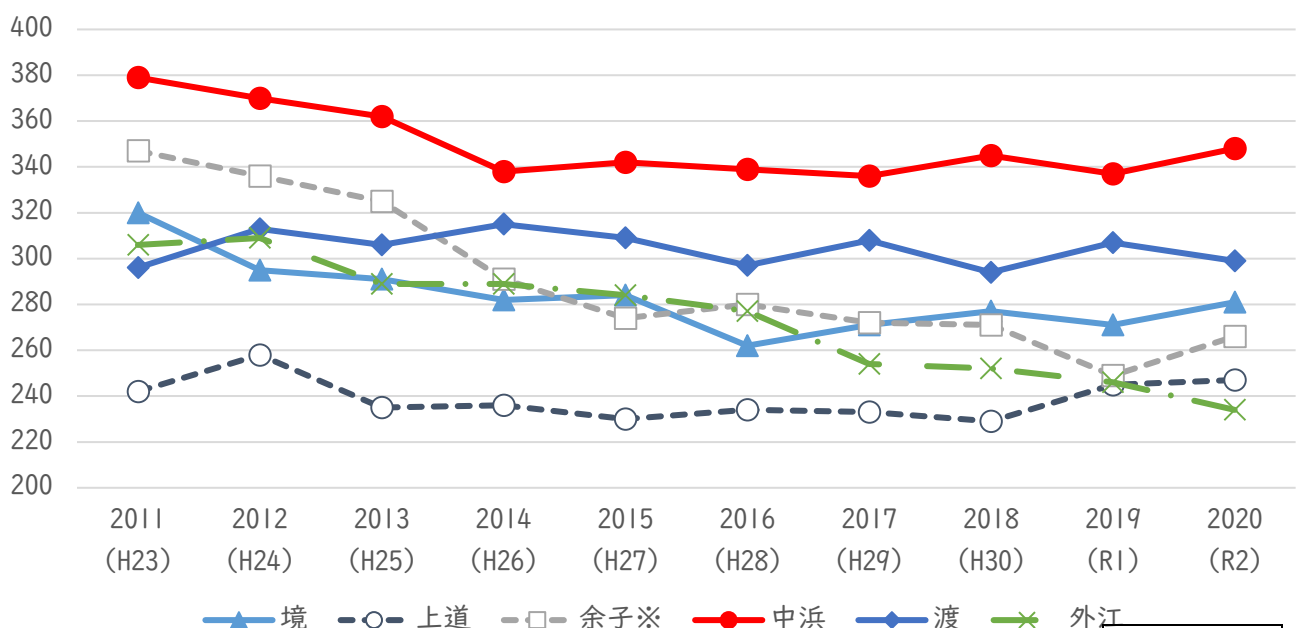
	未満児			以上児			計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
2015年(H27)	16	3	2	0	0	0	21
2016年(H28)	37	4	4	0	0	0	45
2017年(H29)	8	0	1	0	0	0	9
2018年(H30)	6	4	1	0	0	0	11
2019年(R1)	3	0	1	0	0	0	4

4 小学校児童数の状況

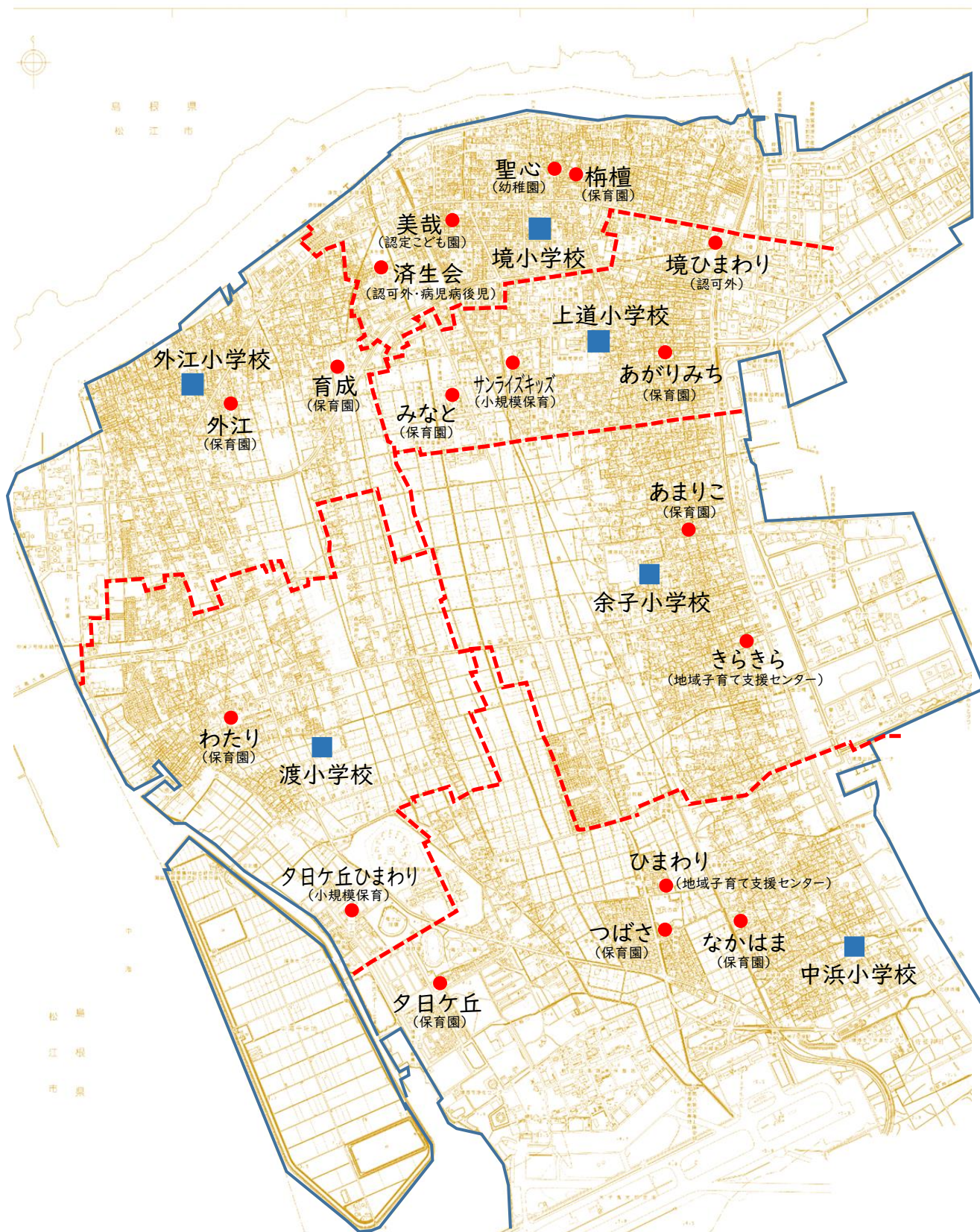
各小学校の児童数(1年生~6年生までの総数、毎年5月1日現在)

	境	上道	余子※	中浜	渡	外江	計
2011年(H23)	320	242	347	379	296	306	1,890
2012年(H24)	295	258	336	370	313	309	1,881
2013年(H25)	291	235	325	362	306	289	1,808
2014年(H26)	282	236	291	338	315	289	1,751
2015年(H27)	284	230	274	342	309	284	1,723
2016年(H28)	262	234	280	339	297	277	1,689
2017年(H29)	271	233	272	336	308	254	1,674
2018年(H30)	277	229	271	345	294	252	1,668
2019年(R1)	271	245	249	337	307	246	1,655
2020年(R2)	281	247	266	348	299	234	1,675
2011と2020の増減率	88%	102%	77%	92%	101%	76%	89%

※余子小学校は、誠道小学校の人数を含んだ数



幼児教育・保育施設の現況について
(立地状況)



幼児教育・保育施設の現況について
(利用状況)

令和2年4月1日現在

(1)認可施設(保育園・認定こども園・幼稚園)

	施設名	所在地(校区)	認可定員	園児数	率	利用年齢	
保育園 (公立)	わたり保育園	渡町(渡)	120	109	91%	1歳～	
	あがりみち保育園	中野町(上道)	110	99	90%	1歳～	
	なかはま保育園	小篠津町(中浜)	120	84	70%	1歳～	
保育園 (私立)	梅檀保育園	東本町(境)	120	107	89%	0歳～	
	みなと保育園	中野町(上道)	60	37	62%	0～2歳	
	あまりこ保育園	福定町(余子)	150	128	85%	0歳～	
	つばさ保育園	幸神町(中浜)	105	81	77%	0歳～	
	夕日ヶ丘保育園	夕日ヶ丘1(中浜)	70	82	117%	0歳～	
	育成保育園	芝町(外江)	85	79	93%	0歳～	
	外江保育園	外江町(外江)	85	80	94%	0歳～	
小規模 保育	サンライズキッズ保育園	中野町(上道)	19	13	68%	0～2歳	
	夕日ヶ丘ひまわり保育園	夕日ヶ丘2(渡)	19	19	100%	0～2歳	
認定 こども園	美哉 幼稚園	保育園 幼稚園	明治町(境)	94	94	100%	1歳～
	40			34	85%	3歳～	
幼稚園	聖心幼稚園	中町(境)	150	99	66%	2歳～	
その他	広域 利用	保育園等	(米子市)	—	10	—	
		幼稚園	(米子市)	—	52	—	
計			1,347	1,207	90%		

(2)認可外保育施設(市内)

施設名	住所	定員	園児数	率	利用年齢
済生会なでしこルーム	米川町	18	3	17%	0歳～
境ひまわり保育園	上道町	60	26	43%	0歳～
計		78	29	37%	

(3)その他

施設名	住所	定員	備考
ひまわり	幸神町	—	子育て支援センター、休日保育
きらきら	竹内町	—	子育て支援センター、ファミリーサポートセンター
済生会こどもケアルーム	米川町	4	病児・病後児保育

平成17年度境港市における幼稚園・保育所のあり方について

1 当時定めた方針(要旨)

- *乳幼児保育サービスについては、民間で十分サービス供給が行える分野であり、積極的に民間に委ねていく。ただし、障がい児保育、病後児保育をはじめ行政が関っていくべき課題等については、民間と共にその解決に努める。
- *公立幼稚園については、現状の利用状況、私立2園の受け入れ容量、近隣市町村の状況等を全て勘案し、公立全園を廃園すべき状況にあると判断する。
- *保育所については、現状の利用状況、今後の乳幼児の人口推計から、いくつかの公立保育所を廃園が考えられる。民間は3歳未満児、公立は3歳以上児ではなく、市民の立場からすれば一貫保育施設が望まれるため、そのように誘導していく。児童措置における安定した市民サービスの確保の観点からいくらかの公立施設を保持し、併せて年度間の保育児童数のばらつきを吸収する。

2 その後の取組状況

(1) 公立施設の廃園や民間譲渡を実施しました。

(H17 当時と現在を比較) 公立幼稚園4園→0園 公立保育所6園→3園

(2) 公立園で3歳未満児の保育を実施するなど、一貫保育に向けた取り組みは前進。

ただし、公立3園は1歳児以上。私立園では小規模を除くと「みなと」のみが未満児専用施設

(3) 待機児童問題に対応するため、受け皿の確保に努めてきました。

3歳未満児の保育所利用人数が、平成17年度264人から、令和2年度413人と大幅に増加するなか、4月時点での待機児童0人は達成しています。しかし、希望の園に入れぬ。兄弟が別々の園になる例があるほか、年度中途には0歳児を中心に待機児童が発生しています。

年度	内容
H17	○境港市における幼稚園・保育所のあり方について
H18	○休日保育スタート(H18年9月～渡保育所。現在は、ひまわりで実施中)
H19	○夕日ヶ丘保育所を認可、上道保育所で未満児受入、つばさ保育所の一貫保育化 ○公立全園で延長保育、土曜午後保育を実施 ○保育料を大幅に引き下げ
H20	○台場保育園の募集停止(→H22末で廃園) ○病児・病後児保育スタート
H23	○わかまつ幼稚園休園(H24だった計画を利用者がなく1年前倒し)
H25	○公立保育所2施設(外江・余子)を民営化、0歳からの一貫保育化
H26	○梅檀・つばさ保育園増築、美哉幼稚園の認定こども園(受け皿の拡充)
H29	○公立園での未満児受入を拡大(保育室改修、未満児トイレ整備を年次的に実施) ○夕日ヶ丘ひまわり保育園(小規模保育)開園(H30年2月～)
H30	○サンライズキッズ境港園(小規模保育)開園(H30年4月～) ○育成保育園の園舎増築、一貫保育化
R元	○幼児教育・保育の無償化スタート(R元年10月～)